

第 19 回思川開発事業生態系保全委員会 議事要旨

日 時：平成 31 年 2 月 28 日（木） 13:30～16:00

場 所：栃木県立宇都宮産業展示館（マロニエプラザ）大会議室

出席者：三島次郎委員長、酒井豊三郎委員、櫻井正美委員、杉田勇治委員、高橋滋委員、柳澤紀夫委員（敬称略、委員五十音順）

議 事：

1. 動植物への影響予測の更新

事務局より、レッドリスト改訂に伴う新規種への影響予測及び、イソング調査の結果について説明し、了解された。

2. 環境保全対策及びモニタリング調査

(1) 環境調査等の現状と今後

事務局より、環境調査等の現状と今後について説明し、了解された。

(2) オオタカ

事務局より、オオタカのモニタリング結果、営巣中心域内での工事等に対する保全対策の実施状況、追加間伐の実施報告、平成 31 年モニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・今後、ダムが完成するまでの全体工事工程を示し、その中に、オオタカの営巣地近隣の工事の実施期間及び、オオタカの繁殖サイクルを記載した工程表を作成すること。この工程表を見ることで、今どの段階を議論しているか、調整すべきことはどのようなことかについて把握しやすくなると考えられる。
- ・希少猛禽類調査時に、サシバについても配慮し調査を行うこと。

(3) クマタカ

事務局より、クマタカのモニタリング結果と平成 31 年モニタリング計画について説明し、了解された。

(4) ムカシヤンマ

事務局より、ムカシヤンマの環境保全対策の実施状況及びモニタリング結果、平成 31 年モニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・南摩ダム貯水位と既生息地の標高について、関連を把握しておくこと。

(5) 希少植物

事務局より、希少植物のモニタリング結果、オオヒキヨモギ活着の取組計画、平成 31 年モニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・オオヒキヨモギは寄生主がはっきりと確認されていないことから、他事業の結果を踏まえ、ナキリスゲを寄生主とする検討も行うこと。

- ・付替林道に関しては、施工済み区間も含め、法面に県道法面で確認されている外来種の中国産コマツナギが生育しないよう十分注意すること。

(6) 希少魚類の保全対策

事務局より、希少魚類の保全対策の実施状況について説明し、了解された。

以 上